

SDGs未来都市等進捗評価シート

石川県珠洲市

2020年8月

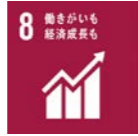






SDGs未来都市計画名

珠洲市SDGs未来都市計画

SDGs未来都市等進捗評価シート

2018年度

1. 全体計画

計画タイトル	石川県 珠洲市 SDGs 未来都市計画				
2030年のあるべき姿	里山里海などの豊かな自然資源、人的資本、そしてこれらをつなぐ、おすそ分け文化、祭り、ヨバレなどの社会（文化）資本が豊かな「インクルーシブ・ウェルス（包括的な富）」日本一の地域を目指す。				
2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール	経済 ゴール8 ターゲット8.3, 8.9 ゴール12 ターゲット12.b, 12.8  		社会 ゴール4 ターゲット4.7 ゴール11 ターゲット11.4  		環境 ゴール6 ターゲット6.6, 6.b ゴール14 ターゲット14.2 ゴール15 ターゲット15.1, 15.5, 15.c   
	優先的なゴール、ターゲットに関するKPI	#	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2030年
1		市内における新規創業・開業数	2014年3月 20 店舗	2019年 10 店舗	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、現在の進捗状況は、2015～2018年までの4年間の累計値であり、24店舗が創業・開業し、順調に推移している。
2		交流人口数	2014年3月 825 千人	2019年 1,300 千人	現在の進捗状況は、1,062千人（2018.1～2018.12までの入込み数）となっており、近年横ばいで推移している。引き続き、本市の魅力を発信し続けると共に、交流人口数の拡大に向けた関連施策を展開する。
3		人材育成プログラムの修了生	2018年3月 165 名	2019年 188 名	現在の進捗状況は、183名（2018年度末累計）となっている。今年度からはSDGsの学びも人材育成プログラムに取り入れ、学びと社会実践を通じた「SDGs 能登モデル」を共創する地域再生人材の育成を目指す。
4		地域資源活用型ビジネスの育成数	2014年3月 1 件	2019年 3 件	現在の進捗状況は、創業等支援相談窓口の設置や経営講習会及び経営指導員の巡回指導の実施、更には能登里山里海創業塾の開催など3件の創業支援施策を実施している。
5		環境教育に関する講座などの開催回数	2014年3月 1 回	2019年 2 回	現在の進捗状況は、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会活動報告会の1件のみとなっている。今後は、全市民を対象とした環境教育を推進するため、NPOなど多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。

1. 全体計画

行政体内部の推進体制	自治体SDGsの情報発信・普及啓発の取組状況・課題	有識者からの取組に対する評価
<p>■各種計画への反映状況や課題 未来都市計画で設定しているKPI等は、本市の第1期総合指針・総合戦略に記載されているKPI等を引用している。総合指針・総合戦略はSDG s 未来都市計画と整合性を図り、第2期計画として2019年度に改訂した（未来都市計画は2020年度中に改訂）。また、珠洲市生物多様性地域連携保全活動計画に関しても、第3期計画として、SDG s の取り組みを反映した計画に改訂している（2019年度改訂済）。</p> <p>■行政体内部の執行体制及び首長のリーダーシップ 市長、副市長、教育長及び市役所内全課室長で構成する3役課長会議を「SDG s 推進本部」と位置付け、本部長は珠洲市長、事務局は企画財政課長が担う。毎月1回の会議を開催し、会議の席上随時進捗状況等を報告し、重要案件（予算執行、プロジェクト提案）などについては、本部長の裁量で順次審議・決定する。</p>	<p>■市内 行政が発行する広報誌を通じて、SDG s の情報発信を行うとともに、市民への普及啓発を実施した。関連団体等とSDG s 普及事業を開催するため、SDG s カードゲームを活用したワークショップなども定期的に開催している。また、市内に存在する県立高校や市内中学校の生徒を対象としたSDG s 学習（SDG s カードゲームの活用）も開催しており、市民の関心度も向上している。CATVによるSDG s 啓発番組の制作については、現在企画中となっている。</p> <p>■市外 これまで金沢大学と連携し、実施してきた人材育成プログラムにおいてもSDG s の要素を盛り込み、「能登里山里海SDG s マイスタープログラム」として、SDG s の学びと社会実践を通じた地域再生人材の育成を図っている。GIAHSのネットワークや国際会議を通じた情報発信については、実施に至っていないため、引き続き事務局を通じて調整したい。</p> <p>■海外 「イファオGIAHS持続発展協議会」と連携したシンポジウムやエクスカーションは開催に至っていないものの、「イファオ里山マイスター」の講義や「イファオ・石川間の学術交流・GIAHS Twinning・イファオ里山マイスター養成プログラムの持続可能性に関する会議」へ参加し、本市の取組み事例などを報告している。</p>	<p>■包括的富を実現するためには、指標の役割が重要であり、KPIが取組ごとに多様に設定されていることは望ましい方向性である。他方、KPIが伝統的な統計資料のみに限られているため、例えばビッグデータや地図情報の活用なども検討するなど、SDGs推進に必要なKPIとして、もう少し広い観点で捉えていくことが望まれる。</p> <p>■人材育成プログラムの修了者数、新規創業・開業数、交流人口等は確実に増大している。これらを好循環にどのようにつなげていくのか、検討を期待する。</p>
ステークホルダーとの連携	地方創生・地域活性化への貢献	
<p>■域内の連携 これまで連携してきた金沢大学をはじめ、国連大学や県内他大学、商工会議所や市内で創業塾を開催している地元金融機関など幅広い知識とノウハウを有したステークホルダーと連携し、地域課題を解決するためのワンストップ窓口として、地域課題解決のコーディネーション機能と“知”と“共創”のプラットフォーム機能を備えた「能登SDG s ラボ」を開設した。「能登SDG s ラボ」は、連携するステークホルダーと共同で運営し、起業・創業の促進など地域内経済の活性化に努めている。</p> <p>■自治体間の連携（国内） SDG s 未来都市に選定されている自治体及びこれからSDG s の取組を実践しようとしている自治体間で情報共有や意見交換を実施し、SDG s の普及展開に取り組むことが出来た。</p> <p>■国際的な連携 人材育成事業による国際的なパートナーシップについては、「イファオ里山マイスター」事業を通じて継続されており、2019年度はイファオ大学と今後の継続方針について協議し、継続の方針が示されている。</p>	<p>■能登SDG s ラボの設立・運営 本市には世界農業遺産に認定されている豊かな里山里海（環境面）と、これまで10年以上にわたり実施してきた人材育成事業で育成された多様なマイスター人材が多く存在（社会面）している。しかし、SDG s 事業を推進する上で最も重要な課題の一つとされている地域経済の活性化に結び付けることが出来ていなかった。</p> <p>SDG s 未来都市として、今後の過疎地域である本市の未来を描く際、これまでに生み出されてきた様々な新たな「可能性」を有機的かつ持続的、発展的に機能させる「仕組み」が不可欠となっている状況であることを踏まえ、経済、社会、環境の三側面に対して自立的好循環を生み出し、地域課題を解決するためのワンストップ窓口機能を備えた「能登SDG s ラボ」を設置した。現在、「能登SDG s ラボ」が中心となり、地域経済の活性化を図るための取組（市内企業に対するアンケート調査、個別ヒアリングなど）を実施している。</p>	

1. 全体計画

取組名	ターゲット	指標名	当初値	2019年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)
自治体SDGsの推進に資する取組の2020年のKPI	4.7	人材育成プログラムの修了生	2017年度 165名	2019年度 196名	2020年 188名	135%	KPIの達成に関しては、順調に推移している。昨年度からは単なる人材育成ではなく、SDGsの学びもプログラム化し、学びと社会実践を通じた「SDGs能登モデル」を共創する地域再生人材の育成を目指している。
	6.6	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1回	2019年度 1回	2020年 2回	50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。
	8.3 8.9	市内における新規創業・開業数	2013年度 20店舗	2019年度 34店舗	2020年 10店舗	180%	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、目標値は2015年～2019年までの5年間の累計値であり、2015年からの5年間で34店舗が新たに創業・開業しており、順調に推移している。
	11.4	地域資源活用型ビジネスの育成数	2013年度 1件	2019年度 3件	2020年 3件	100%	市内経済の活性化を図るため、創業支援施策数をKPIに設定している。現在は、創業等支援相談窓口の設置、経営講習会及び経営指導員の巡回指導の実施、能登里山里海創業塾の開催など3施策を実施しており、順調に推移している。
	12.8	交流人口数	2013年度 825千人	2019年度 1,068千人	2020年 1,300千人	51%	KPIの達成に関しては、50%程度の達成度となっているが、年間100万人は維持されている。県内はもとより県外の大手旅行会社を中心に、奥能登国際芸術祭2017の常設作品を活用したツアー造成を働きかけるなど、交流人口拡大に向けた関連施策を継続的に展開する。
②地域循環共生圏 (持続的な地域保全活動)の構築	6.b	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1回	2019年度 1回	2020年 2回	50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。
	8.3 8.9	市内における新規創業・開業数	2013年度 20店舗	2019年度 34店舗	2020年 10店舗	180%	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、目標値は2015年～2019年までの5年間の累計値であり、2015年からの5年間で34店舗が新たに創業・開業しており、順調に推移している。
	12.8	交流人口数	2013年度 825千人	2019年度 1,068千人	2020年 1,300千人	51%	KPIの達成に関しては、50%程度の達成度となっているが、年間100万人は維持されている。県内はもとより県外の大手旅行会社を中心に、奥能登国際芸術祭2017の常設作品を活用したツアー造成を働きかけるなど、交流人口拡大に向けた関連施策を継続的に展開する。
	15.c	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1回	2019年度 1回	2020年 2回	50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。

	取組名	ターゲット	指標名	当初値	2019年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）
自治体SDGsの推進に資する取組の2020年のKPI	③能登SDGsラボの設立運営	4.7	人材育成プログラムの修了生	2017年度 165名	2019年度 196名	2020年 188名	 135%	KPIの達成に関しては、順調に推移している。昨年度からは単なる人材育成ではなく、SDGsの学びもプログラム化し、学びと社会実践を通じた「SDGs能登モデル」を共創する地域再生人材の育成を目指している。
		6.6	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1回	2019年度 1回	2020年 2回	 50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。
		8.3 8.9	市内における新規創業・開業数	2013年度 20店舗	2019年度 34店舗	2020年 10店舗	 180%	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、目標値は2015年～2019年までの5年間の累計値であり、2015年からの5年間で34店舗が新たに創業・開業しており、順調に推移している。
		11.4	地域資源活用型ビジネスの育成数	2013年度 1件	2019年度 3件	2020年 3件	 100%	市内経済の活性化を図るため、創業支援施策数をKPIに設定している。現在は、創業等支援相談窓口の設置、経営講習会及び経営指導員の巡回指導の実施、能登里山里海創業塾の開催など3施策を実施しており、順調に推移している。
		12.8	交流人口数	2013年度 825千人	2019年度 1,068千人	2020年 1,300千人	 51%	KPIの達成に関しては、50%程度の達成度となっているが、年間100万人は維持されている。県内はもとより県外の大手旅行会社を中心に、奥能登国際芸術祭2017の常設作品を活用したツアー造成を働きかけるなど、交流人口拡大に向けた関連施策を継続的に展開する。
		15.1 15.5	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1回	2019年度 1回	2020年 2回	 50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。
	④域学連携の推進	6.6	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1回	2019年度 1回	2020年 2回	 50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。
		8.3 8.9	市内における新規創業・開業数	2013年度 20店舗	2019年度 34店舗	2020年 10店舗	 180%	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、目標値は2015年～2019年までの5年間の累計値であり、2015年からの5年間で34店舗が新たに創業・開業しており、順調に推移している。
		12.8	交流人口数	2013年度 825千人	2019年度 1,068千人	2020年 1,300千人	 51%	KPIの達成に関しては、50%程度の達成度となっているが、年間100万人は維持されている。県内はもとより県外の大手旅行会社を中心に、奥能登国際芸術祭2017の常設作品を活用したツアー造成を働きかけるなど、交流人口拡大に向けた関連施策を継続的に展開する。
	⑤先端アートプロジェクトによる地域の魅力発信及びインバウンド促進	8.9	市内における新規創業・開業数	2013年度 20店舗	2019年度 34店舗	2020年 10店舗	 180%	当初値のKPIは2005年～2014年までの10年間で創業・開業した累計値、目標値は2015年～2019年までの5年間の累計値であり、2015年からの5年間で34店舗が新たに創業・開業しており、順調に推移している。
		12.8	交流人口数	2013年度 825千人	2019年度 1,068千人	2020年 1,300千人	 51%	KPIの達成に関しては、50%程度の達成度となっているが、年間100万人は維持されている。県内はもとより県外の大手旅行会社を中心に、奥能登国際芸術祭2017の常設作品を活用したツアー造成を働きかけるなど、交流人口拡大に向けた関連施策を継続的に展開する。

	取組名	ターゲット	指標名	当初値	2019年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）
自治体SDGsの 推進に資する 取組の 2020年のKPI	⑥国内外地域との連携支援の拡大	11.4	地域資源活用型ビジネスの育成数	2013年度 1 件	2019年度 3 件	2020年 3 件	 -50% 0% 50% 100% 100%	市内経済の活性化を図るため、創業支援施策数をKPIに設定している。現在は、創業等支援相談窓口の設置、経営講習会及び経営指導員の巡回指導の実施、能登里山里海創業塾の開催など3施策を実施しており、順調に推移している。
		15.1 15.5	環境教育に関する講座などの開催回数	2013年度 1 回	2019年度 1 回	2020年 2 回	 -50% 0% 50% 100% 50%	KPIの達成に関しては、市内小学生を対象に実施している珠洲の里山生き物観察会を通じた活動報告会の1件のみとなっているが、年々、市民の関心も高まりつつあり、聴講者も増加傾向にある。今後、全市民を対象とした環境教育を推進するため、多様なステークホルダーとの連携を図り、実践する。